

V. 開発単位Ⅲ：グローバル拠点

第1章

概 要

原 順 子

グローバル拠点は「仮説Ⅲ－国内外にグローバル拠点を形成し、効果的に活用することにより、自らの考えを適切な方法で論理的に他者に表現し、勇気と判断力を身につけることができる。」という仮説に基づいて計画、実践している。開発単位の中で、唯一生徒全員を対象としていない。対象とする生徒は、各拠点毎のコミッティーに応募し、集まった任意の集団である。昼休みや授業後に週1のペースで活動している。担当教員はSGH推進委員である。

(1) 国内拠点

1) 名古屋大学を拠点とするコミッティー

- ①名称：グローバルディスカッション・コミッティー
- ②目的：他の高校生と協同して英語で留学生と課題発見・課題解決型探究活動を行う。
- ③対象生徒：高校1年生、2年生 27年度は5名で活動
- ④生徒の条件：
 - i 英語でディスカッションすることに興味のある生徒
 - ii 二日間のイベントに両日参加できること
- ⑤活動内容：グローバルディスカッションのテーマについて基本的な用語を調べる。

(2) 海外拠点

1) アジア（モンゴル）名古屋大学事務所を拠点とするコミッティー

- ①名称：モンゴルグローバルコミッティー
- ②目的：姉妹校提携をしている新モンゴル高校の生徒と協同で探究型プログラムを行う。
- ③対象生徒：高校1年生、2年生 27年度は13名で活動
- ④参加条件：課題探究Ⅱの6つの領域のうち、「生命」「自然と環境」「心」の3領域からグローバルイシューを見つけ、課題研究を進める生徒。かつ、モンゴルに興味のある生徒。
- ⑤活動内容：月に1回のペースで新モンゴル高校とテレビ会議を行う。会議の内容はモンゴルと日本の文化紹介から、協同課題探究についてのディスカッション等多岐に渡る。

2) 北米（ノースカロライナ州チャペルヒル地区） NU-Techを拠点とするコミッティー

- ①名称：N.C.グローバルコミッティー
- ②目的：名古屋大学海外事務所NU-Techと連携して、NC州の3つのハイスクールと学校間プロジェクトを行う。
- ③対象生徒：高校1年生、2年生 27年度は13名で活動
- ④参加条件：課題探究Ⅱの6つの領域のうち、「文化」「人権と共生」「平和」の3領域からグローバルイシューを見つけ、課題研究を進める生徒。かつ、米国に興味のある生徒。
- ⑤活動内容：生徒のテーマ毎に小グループをつくり、課題探究Ⅱの授業と並行してNCの高校生と協同で探究を深める。NCの渡航前にはプレゼンテーションをNCの先生にもメールにて指導を受ける。

(文責 原 順子)